

平成１９年度食の安全・安心確保交付金（消費・安全対策整備）事後評価結果

九州農政局

目 的	施設名	評 価 結 果						
		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
Ⅰ 伝染性疾病・ 病害虫の発 生予防・まん 延防止	冷却式多本架遠心器	A	—	—	—	—	—	—
	超純粋製造装置	A	—	—	—	—	—	—
	安全キャビネット	—	A	—	—	—	—	—
	リアルタイムPCRシステム	—	A	—	—	—	—	—
	蛍光・発光・吸光マイクロプレートリーダー	—	—	A	—	—	—	—
	高速診断対応機器 遺伝子情報解析診断機器 リアルタイムPCR	—	—	—	A	—	—	—
	バイオセキュリティ等対応機器 病性診断処理機器 薬用冷蔵庫	—	—	—	A	—	—	—
	バイオセキュリティ等対応機器 感染性廃棄物処理機器 環境衛生管理機器 一時保管用冷凍庫	—	—	—	A	—	—	—
	高速診断対応機器 その他 振とう器	—	—	—	A	—	—	—
	バイオセキュリティ等対応機器 病性診断処理機器 恒温培養器	—	—	—	A	—	—	—
	滑走式マイクローム	—	—	—	—	A	—	—
	マイクロ冷却遠心機	—	—	—	—	A	—	—
	マイクロプレートウォッシャー	—	—	—	—	A	—	—
	SKミル	—	—	—	—	—	A	—
	プログラム低温恒温器	—	—	—	—	—	A	—
	冷凍ストッカー	—	—	—	—	—	A	—
	インキュベータ	—	—	—	—	—	A	—
総 合	評 価	A	A	A	A	A	A	—

参考：評価A（達成度80%以上）、評価B（達成度50%以上80%未満）、評価C（50%未満）

平成２１年度食の安全・安心確保交付金（食の安全・消費者の信頼確保対策推進）事後評価結果

九州農政局

目 的	目 標	目標値の考え方(事業の目的)	評 価 結 果						
			福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
Ⅰ 農畜水産物の安全性の確保	1 土壌有害物質のリスク管理の推進	土壌有害物質のリスク低減化技術を確立・普及するため、調査等実施面積の増加・拡大を図る	A	—	A	A	—	—	—
	2 生鮮農産物の安全性の確保	GAPの導入・普及を推進するため、GAP実践農家数の増加を図る	A	A	A	—	B	A	A
	3 硝酸塩のリスク管理の推進	硝酸塩の低減化技術の普及を図るための説明会の実施回数及び硝酸塩の低減化技術を実施した面積の増加を図る	—	—	—	—	—	—	—
	4 農薬の適正使用等の総合的な推進	農薬のより一層の安全性を確保するため、農薬の不適切な販売・使用の発生率の低減を図る	B	C	A	A	A	A	A
	5 畜産物の安全性の確保	地域段階での飼料の安全性を確保するため、不適正な事例の割合の低減を図る	A	A	A	A	A	A	A
	6 水産物の安全性の確保	生産段階での貝毒リスク管理を的確に実施するため、貝毒発生監視調査実施数の増加を図る	A	A	A	A	A	A	—
Ⅱ 伝染性疾病・病虫害の発生予防・まん延防止	1 家畜衛生の推進	地域における家畜衛生の向上を図るため、家畜の伝染性疾病の発生件数の低減を図る	A	A	A	A	A	A	A
	2 養殖衛生管理体制の整備	安全・安心な養殖水産物の生産・供給体制を確立するため、養殖衛生管理指導を行った養殖等経営体数の割合の増加を図る	A	A	A	A	A	A	A
	3 病虫害の防除の推進	効率的・効果的で農業環境リスクを低減した病虫害防除技術を確立・普及するため、総合的病虫害・雑草管理(IPM)実践指数の向上を図る	A	A	A	A	A	A	A
	4 重要病虫害の特別防除等	病虫害の侵入・まん延防止等を図るため、対象病虫害の侵入調査・防除等を実施する	A	A	A	A	A	A	A
Ⅲ 地域における「食事バランスガイド」等の普及・活用の促進		健全な食生活の実現を図るため、「食事バランスガイド」を参考に食生活を送っている人の増加を図る	A	—	A	—	A	A	A
総 合 評 価			A	A	A	A	A	A	A

参考：評価A(達成度80%以上)、評価B(達成度50%以上80%未満)、評価C(50%未満)

平成２１年度食の安全・安心確保交付金（食の安全・消費者の信頼確保対策推進・特別交付型）事後評価結果

九州農政局

目 的	目 標	目標値の考え方(事業の目的)	評 価 結 果						
			福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
Ⅰ 農畜水産物の安全性の確保	農薬の適正使用等の総合的な推進	農薬のより一層の安全性を確保するため、農薬の不適切な販売・使用の発生率の低減を図る	—	—	—	—	—	—	—
Ⅱ 伝染性疾病・病虫害の発生予防・まん延防止	家畜衛生の推進	地域における家畜衛生の向上を図るため、家畜の伝染性疾病の発生件数の低減を図る	—	—	—	—	—	—	—
	養殖衛生管理体制の整備	安全・安心な養殖水産物の生産・供給体制を確立するため、養殖衛生管理指導を行った養殖等経営体数の割合の増加を図る	—	—	—	—	—	—	—
	重要病虫害の特別防除等	病虫害の侵入・まん延防止等を図るため、対象病虫害の侵入調査・防除等を実施する(ブラムボックスウィルス・カンキツグリーンング病・アリモドキゾウムシ・イモゾウムシのまん延防止対策等)	A	—	A	—	A	A	A
総 合 評 価			A	—	A	—	A	A	A

参考：評価A(達成度80%以上)、評価B(達成度50%以上80%未満)、評価C(50%未満)